

4章 外壁改修工事 (5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

4.5.6
工

法

(8) 複層塗材 Si 及び複層塗材 E は、次による。

分類	S K K 該当製品
複層塗材 Si	セラミタイトタイル、セラミタイトタイルゆず肌、セラミロール
複層塗材 E	レナラック、ツーキコートタイル、レナラックローラー用、ツーキコートローラー用

(ア) 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する水の量で均一になるように行う。ただし、溶剤系の下塗材又は上塗材の場合は、仕上塗材の製造所の指定する量の専用薄め液で均一になるように行う。及び、2液形上塗材は、薄める前に基剤と硬化剤を仕上塗材の製造所の指定の割合で混ぜ合わせる。

(イ) 下塗りは、だれ、塗残しのないように均一に塗り付ける。

(ウ) 主材塗りは、次による。

(a) 吹付けの場合は、次による。

① 基層塗りと模様塗りの2回とする。

② 基層塗りは、だれ、ピンホール及び塗残しのないよう下地を覆うように塗り付ける。

③ 模様塗りは、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、仕上塗材の製造所の指定する吹付け条件により吹き付ける。

④ 凸部処理は、模様塗りの後に、見本塗板と同様の模様になるように、こて又はローラーにより押さえる。

(b) ローラー塗りの場合、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、所定のローラーを用いて塗り付ける。

(エ) 上塗りは、次による。

(a) 上塗材がメタリックの場合の所要量は、0.4kg/m²以上とする。また、上塗りの工程を3回以上とし、第1回目はクリヤー又はメタリックと同系色のエナメルを塗り付け、最上層はクリヤーとする。

(b) (a)以外の場合は、上塗りは、2回塗りとし、色むら、だれ、光沢むら等が生じないように均一に、はけ、ローラー又はスプレーガンにより塗り付ける。

4章 外壁改修工事 (5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

〔SKK推奨メタリック塗料〕	
分類	SKK該当製品
ポリウレタン系	(SKファインメタリック★-セラタイトUクリヤー仕上げ★)、(SKファインメタリック★-ウレタントップ仕上げ★)
アクリルシリコン系	(SKファインメタリック★-セラタイトSiクリヤー仕上げ★)、(SKファインメタリック★-リリカタイトクリヤー仕上げ★)
ふっ素系	(SKファインメタリック★-セラタイトFクリヤー仕上げ★)

(注) 1. ()の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 ※下塗材の種類によっては使用できない場合があります。別途、お問い合わせください。

複層塗材Si (凸部処理、凹凸状/吹付け)

セラタイトタイル (凸部処理、凹凸状)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	SKK該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層 仕上塗材	複層塗材Si	凸部処理 凹凸状	吹付け	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.30	1~2
				主材基層	セラタイトタイル主材★	0.7~0.8	1
				主材模様	セラタイトタイル主材★	0.8~0.9	1
				上塗材(注)3	例: 水性セラミシリコン★	0.25~0.35	2

- (注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ミラクシーラーEPO★」「マイルドシーラーEPO★」「エスケーハイブリッドシーラーEPO★」をご使用ください。
 2. クリヤータイプとホワイトタイプがあります。
 3. 上塗材については、下記〔SKK推奨各種上塗材〕を参考に、適切な製品を選択してください。
 4. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 5. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材(希釈する前)の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

〔SKK推奨各種上塗材〕(セラタイトタイル) ※艶有りのみ

	樹脂	製品名	
硬質	アクリル系	ブリーズコート★	
	ウレタン系	水性コンポウレタン★	
	水系	アクリルシリコン系	水性コンポシリコン★
			水性セラミシリコン★
			水性セラタイトSi★
	弱溶剤系	ふっ素系	エスケーププレミアムシリコン★
水性セラタイトF★(注)1			
スーパーセラタイトF★(注)1			
弱溶剤系	ウレタン系	クリーンマイルドウレタン★	
	アクリルシリコン系	クリーンマイルドシリコン★	
	ふっ素系	クリーンマイルドフッソ★	

- (注) 1. 専用の中塗材が必要です。
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

4章 外壁改修工事 (5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

セラミタイトタイルゆず肌 (ゆず肌状)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	S K K 該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層 仕上塗材	複層塗材 S i	凸部処理 凹凸状	吹付け	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.30	1~2
				主材基層	セラミタイトタイルゆず肌主材★	1.0~1.2	1
				主材模様	セラミタイトタイルゆず肌主材★	0.8~1.0	1
				上塗材(注)3	例: 水性セラミシリコン★	0.25~0.35	2

- (注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ミラクシーラーEPO★」「マイルドシーラーEPO★」「エスケーハイブリッドシーラーEPO★」をご使用ください。
 2. クリヤータイプとホワイトタイプがあります。
 3. 上塗材については、次頁〔S K K推奨各種上塗材〕を参考に、適切な製品を選択してください。
 4. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 5. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材（希釈する前）の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

複層塗材 S i (ゆず肌状/ローラー塗り)

セラミロール

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	S K K 該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層 仕上塗材	複層塗材 S i	ゆず肌状	ローラー塗り	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.30	1~2
				主材	セラミロール主材★	1.0~1.8	1~2
				上塗材(注)3	例: 水性セラミシリコン★	0.25~0.35	2

- (注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ミラクシーラーEPO★」「マイルドシーラーEPO★」「エスケーハイブリッドシーラーEPO★」をご使用ください。
 2. クリヤータイプとホワイトタイプがあります。
 3. 上塗材については、下記〔S K K推奨各種上塗材〕を参考に、適切な製品を選択してください。
 4. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 5. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材（希釈する前）の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

〔S K K推奨各種上塗材〕(セラミタイトタイルゆず肌、セラミロール) ※艶有りのみ

硬質	水系	樹脂		製品名	
		樹脂	製品名	樹脂	製品名
	水系	アクリル系	アクリル系	ブリーズコート★	
		ウレタン系	ウレタン系	水性コンポウレタン★	
		アクリルシリコン系	アクリルシリコン系	水性コンポシリコン★	
			アクリルシリコン系	水性セラミシリコン★	
	弱溶剤系	アクリルシリコン系	アクリルシリコン系	水性セラタイト S i ★	
			アクリルシリコン系	エスケープレミアムシリコン★	
		ふっ素系	ふっ素系	水性セラタイト F ★(注)1	
			ふっ素系	スーパーセラタイト F ★(注)1	
弱溶剤系	ウレタン系	ウレタン系	クリーンマイルドウレタン★		
	アクリルシリコン系	アクリルシリコン系	クリーンマイルドシリコン★		
		ふっ素系	ふっ素系	クリーンマイルドフッソ★	

- (注) 1. 専用の中塗材が必要です。
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

4章 外壁改修工事 (5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

使用可能な下地調整塗材(セラタイトタイル、セラタイトタイルゆず肌、セラミロール)

下地	下地調整塗材	SKK該当製品	備考(注)3
コンクリート	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
	下地調整塗材C-2	ミラクファンドKC-2000★ ミラクカチオンフィラー★	—
	下地調整塗材CM-2	(ミラクファンドKC-3000)(注)1	—
モルタル、 せっこうプラスター	仕上塗材の下塗材で代用	水性ミラクシーラーエコ★	仕上塗材の下塗材省略可
プレキャスト コンクリート	仕上塗材の下塗材で代用	ミラクシーラーEPO★ マイルドシーラーEPO★ エスケーハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可
ALCパネル	合成樹脂エマルジョンシーラー	水性ミラクシーラーエコ★	—
押出成形セメント板	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
	反応硬化形成合成樹脂シーラー 及び弱溶剤形成合成樹脂シーラー	ミラクシーラーEPO★ マイルドシーラーEPO★ エスケーハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可

- (注) 1. ()の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 3. 備考欄が「—」のものは、下地調整塗材を塗付後に、必ず仕上塗材の下塗材を塗付してください。

複層塗材E (凸部処理、凹凸状/吹付け)

レナラック

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	SKK該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層 仕上塗材	複層塗材E	凸部処理 凹凸状	吹付け	主材基層	レナラック主材★	0.7~0.8	1
				主材模様	レナラック主材★	0.8~0.9	1
				上塗材(注)3	例: 水性セラミシリコン★	0.25~0.35	2

- (注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ミラクシーラーEPO★」「マイルドシーラーEPO★」「エスケーハイブリッドシーラーEPO★」をご使用ください。
 2. クリヤータイプとホワイトタイプがあります。
 3. 上塗材については、下記〔SKK推奨各種上塗材〕を参考に、適切な製品を選択してください。
 4. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
 5. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材(希釈する前)の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

〔SKK推奨各種上塗材〕(レナラック) ※艶有りのみ

硬質	水系	樹脂		製品名	
		ウレタン系	シリコン系		
	水	ウレタン系	アクリル系	ブリーズコート★	
			ウレタン系	水性コンポウレタン★	
			アクリルシリコン系	水性コンポシリコン★	
	弱溶剤系	アクリルシリコン系	ウレタン系	水性セラタイトSi★	
			アクリルシリコン系	エスケープレミアムシリコン★	
			アクリルシリコン系	水性セラタイトF★(注)1	
			アクリルシリコン系	スーパーセラタイトF★(注)1	
	弱溶剤系	ウレタン系	クリーンマイルドウレタン★		
		アクリルシリコン系	クリーンマイルドシリコン★		
		アクリルシリコン系	クリーンマイルドフツ★		

- (注) 1. 専用の中塗材が必要です。
 2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

4章 外壁改修工事 (5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

ツーキョートマイル (透湿性)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	S K K 該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層仕上塗材	複層塗材E	凸部処理 凹凸状	吹付け	下塗材(注)1	ツーキシーラーW★	0.15~0.20	1
				主材基層(注)2	ツーキョートマイル主材★	0.7~0.8	1
				主材模様(注)2	ツーキョートマイル主材★	0.8~0.9	1
				上塗材	ツーキョート上塗材★	0.25~0.35	2

(注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ツーキシーラーEPO★」をご使用ください。

2. 「ツーキョートマイル主材★」の所要量は、透湿性能を確保する場合は、1.3~1.7kg/m² (塗り回数1~2) としてください。

3. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

4. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材 (希釈する前) の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

複層塗材E (ゆず肌状/ローラー塗り)

レナラックローラー用

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	S K K 該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層仕上塗材	複層塗材E	ゆず肌状	ローラー塗り	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.30	1~2
				主材	レナラックローラー用主材★	1.0~1.7	1~2
				上塗材(注)3	例: 水性セラミシリコン★	0.25~0.35	2

(注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ミラクシーラーEPO★」「マイルドシーラーEPO★」「エスケーハイブリッドシーラーEPO★」をご使用ください。

2. クリヤータイプとホワイトタイプがあります。

3. 上塗材については、下記〔S K K 推奨各種上塗材〕を参考に、適切な製品を選択してください。

4. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

5. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材 (希釈する前) の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

〔S K K 推奨各種上塗材〕(レナラックローラー用) ※艶有りのみ

硬質	水系	樹脂		製品名
		ウレタン系	シリコン系	
		ウレタン系	アクリル系	プリーズコート★
			シリコン系	水性コンポウレタン★
	シリコン系	アクリルシリコン系	ウレタン系	水性コンポシリコン★
			シリコン系	水性セラミシリコン★ 水性セラタイトSi★ エスケープレミアムシリコン★
弱溶剤系	シリコン系	ウレタン系	シリコン系	水性セラタイトF★(注)1 スーパーセラタイトF★(注)1
			シリコン系	クリーンマイルドウレタン★
			シリコン系	クリーンマイルドシリコン★
		シリコン系	ウレタン系	クリーンマイルドフツソ★

(注) 1. 専用の中塗材が必要です。

2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

4章 外壁改修工事 (5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修)

ツーキョートローラー用 (透湿性)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	S K K 該当製品	所要量 (kg/m ²)	塗り回数
複層 仕上塗材	複層塗材E	ゆず肌状	ローラー塗り	下塗材(注)1	ツーキシーラーW★	0.15~0.20	1
				主材	ツーキョートローラー用主材★	1.0~1.6	1~2
				上塗材	ツーキョート上塗材★	0.25~0.35	2

(注)1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ツーキシーラーEPO★」をご使用ください。

2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

3. 所要量は、被仕上塗材仕上げ面単位面積当たりの仕上塗材(希釈する前)の使用質量であり、被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

使用可能な下地調整塗材 (レナラック、レナラックローラー用)

下地	下地調整塗材	S K K 該当製品	備考(注)3
コンクリート	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
	下地調整塗材C-2	ミラクファンドKC-2000★ ミラクカチオンフィラー★	—
	下地調整塗材CM-2	(ミラクファンドKC-3000)(注)1	—
モルタル、 せっこうプラスター	仕上塗材の下塗材で代用	水性ミラクシーラーエコ★	仕上塗材の下塗材省略可
プレキャスト コンクリート	仕上塗材の下塗材で代用	ミラクシーラーEPO★ マイルドシーラーEPO★ エスケーハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可
ALCパネル	合成樹脂エマルジョンシーラー	水性ミラクシーラーエコ★	—
	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
押出成形セメント板	反応硬化形成樹脂シーラー 及び弱溶剤形成樹脂シーラー	ミラクシーラーEPO★ マイルドシーラーEPO★ エスケーハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可

(注)1. ()の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。

2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

3. 備考欄が「—」のものは、下地調整塗材を塗付後に、必ず仕上塗材の下塗材を塗付してください。

使用可能な下地調整塗材 (ツーキョートタイル、ツーキョートローラー用)

下地	下地調整塗材	S K K 該当製品	備考(注)3
コンクリート	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
	下地調整塗材C-2	ミラクファンドKC-2000★ ミラクカチオンフィラー★	—
	下地調整塗材CM-2	(ミラクファンドKC-3000)(注)1	—
モルタル、 せっこうプラスター	仕上塗材の下塗材で代用	ツーキシーラーW★	仕上塗材の下塗材省略可
プレキャスト コンクリート	仕上塗材の下塗材で代用	ツーキシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可
ALCパネル	合成樹脂エマルジョンシーラー	ツーキシーラーW★	—
	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
押出成形セメント板	反応硬化形成樹脂シーラー 及び弱溶剤形成樹脂シーラー	ツーキシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可

(注)1. ()の製品は、JIS表示申請は行っていないが、社内規格にもとづきJIS相当品と判断しているもの。

2. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

3. 備考欄が「—」のものは、下地調整塗材を塗付後に、必ず仕上塗材の下塗材を塗付してください。